



柚木沙弥郎 いのちの旗じるし

2017

4.20(木) - 6.4(日)

開館時間 / 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

入館料 / 一般500円、学生250円、中学生以下無料
休館日 / 月曜日

主 催 / 公益財団法人泉美術館、中国新聞社

後 援 / 広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、中国放送、
広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.7MHz

協 力 / ギャラリーTOM

公益財団法人 泉美術館

柚木沙弥郎 いのちの旗じるし SAMIRO YUNOKI



1

- 1.〈老いたひまわり〉2014年 2.〈工事場〉2013年 岩手県立美術館蔵
 3.〈雨ニモマケズ 原画〉2016年 4.〈萌芽を求めて〉1995年
 5.〈とうもろこし〜記念日〉2013年 岩手県立美術館蔵 6.〈幾何模様〉2016年
 7.〈このぼり〉2016年



2



3



4



5



6



7



- JR山陽本線 新井口駅より徒歩10分 ■ 広電宮島線 草津南駅より徒歩7分
 ■ 駐車場無料 エクセル本店の駐車場をご利用下さい。

柚木沙弥郎は1922(大正11)年東京都に生まれ、民藝運動の創始者 柳宗悦を介して染色家 芹沢銈介に師事し、染色の道を歩み始めました。以来、伝統的な型染め技法によって現代感覚あふれる大胆な色彩と図柄による染色作品を発表し、国内外で高く評価されています。1980年代以降は、版画、絵本挿絵、人形などの立体造形なども手がけるようになり、その創作世界は一層広がりました。

本展は「いのちの旗じるし」をテーマに開催します。「いのちの旗じるし」とは、戦国武将が信条を旗指物に掲げたように、今この時を生きる柚木が掲げた自身の決意です。それは、戦争などで志半ばに消えた命への責任と、表現を命としてきた作家としての誇りであり、この責任と誇りを胸に命続く限りつくり続けるという、94歳の表現者の信条でした。生み出される作品は生命力にあふれ、東日本大震災以降、様々な状況の中で「いのち=生きること」の再考を迫られた現代の私達に対する、柚木からのエールでもあります。

本展は、当館の開館20周年を記念して開催する展覧会です。2011年以降に制作された染色作品を中心に、初公開作品《このぼり》や、版画、絵本原画など約60点の作品を通して、柚木芸術の現在を紹介します。

■ 関連企画展「彫刻家ズビネック・セカール」
 柚木沙弥郎が自身の「希望の星」と語る、チェコの彫刻家セカールの作品を展示します。
 会期／4月20日(木)～5月14日(日) 入場無料

■ 記念講演「彫刻家セカールのこと」 講師 池内 紀 氏
 日時／4月22日(土)14:00～15:00 会場／泉美術館
 定員100名・参加無料(要本展入館券)・予約不要

池内 紀(いけうち・おさむ) 1940年兵庫県姫路市生まれ。ドイツ文学者、エッセイスト。主な著書に『ゲーテさんこんばんは』(桑原武夫学芸賞)、『海山のあいだ』(講談社エッセイ賞)、『二列目の人生』、『恩地孝四郎』(読売文学賞)など。訳書に『カフカ小説全集』(全6巻、日本翻訳文化賞)、『ファウスト』(毎日出版文化賞)など。町歩きや、自然にまつわる本も、『ニッポン周遊記』『日本の森を歩く』など多数。

■ 学芸員による作品解説 14:00～14:30/参加無料(要本展入館券)
 4月29日(祝)、5月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)、6月3日(土)

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1 エクセル本店5階
 TEL 082-276-2600 FAX 082-276-2612
 HP <http://www.izumi-museum.jp/>